

平成 29 年度大阪府立寝屋川支援学校第 3 回「学校協議会」報告書

日 時	平成 30 年 2 月 16 日（金） 9：30 ～ 11：30			
出席者	協議会委員	職名等	学校側出席者	校務分掌等
	加藤 美朗	関西福祉科学大学准教授	太田 正義	校長
	松島 明日香	滋賀大学教育学部講師	岡本 智	准校長
	辻 直幸(欠席)	寝屋川市立中央小学校長	吉村 昌己	事務部長
	奥野 勇人(欠席)	(株) LIXIL ビバ SC 事業部 SC 運営管理部 マネジャー	石原 典忠	教頭
			木村 稔	教頭
	岸本 泰幸	社会福祉法人・福祉型障害児入 所施設 月の輪学院 理事長	角尾 将司	首席
			宇賀 功二	首席
	那須 保子	寝屋川支援学校 P T A 会長	門田 悠	首席
			植屋 正美	首席
西田 宜弘			小学部主事	
林 尚美			中学部主事	
鶴岡 敬三			高等部主事	
竹内 太平			進路指導主事	
おもな テーマ	<p>①平成 29 年度「学校に関するアンケート」の結果について</p> <p>②平成 29 年度学校経営計画の達成状況及び平成 30 年度学校経営計画について</p> <p>③本校におけるセンター的機能の活動状況について</p> <p>④進路指導の状況について</p> <p>⑤校則について</p> <p>⑥学校運営協議会について</p>			
協議内容 の概略	<p>(1) 平成 29 年度「学校に関するアンケート」の結果について、校長・准校長より説明があった。</p> <p>(2) 平成 29 年度学校経営計画の達成状況及び平成 30 年度学校経営計画について、校長・准校長より説明があった。</p> <p>(3) 本校のセンター的機能の状況について、地域支援、北河内支援学校相談サポートセンター等について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(4) 進路指導の取り組みについて、平成 29 年度高等部卒業生進路先、実習先企業開拓、校内での取り組み等について、竹内進路指導主事より報告があった。</p> <p>(5) 校則について、木村教頭より説明があった。</p> <p>(6) 学校運営協議会について、校長より説明があった。</p> <p>(7) 協議会委員による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加藤会長は、「知的障がいの子供生徒は発信することの難しさがあり、いじめられていることの把握が難しいこともあるので、そのあたりも踏まえて見守ってもらいたい。支援学校は個々に対応できるところが良いところであるが、教員によって指導が違ふことは児童生徒にとってしんどいことである。共通認識が大切なので、校則についても指導方針を共有していくことが重要である。」と述べられた。 ・松島委員は、「太田ステージについては、研修を丁寧になされ、教員の評価が高い。太田ステージを来年度以降どう活用するかが課題である。教員の担当教科については、専門教科でないからこそ多様で自由度のある授業づくりができるという面もあるのではないかと。寝屋川支援学校では、重要課題に早くから気づき、充実した実践に結び付けている。この取り組みを地域と共に他の支援学校にも公開されるよう望んでいる。」と述べられた。 ・岸本委員は、「児童生徒の多様化については、学習ニーズの高い児童生徒への対応がこれからの課題になって来ると思う。支援学校においても虐待や不適切な養育の環境に置かれている児童生徒が存在するはずだが、支援学校の先生方にも不適切な養育ということを見る視点を持てるように児童福祉や虐待に関して学ぶ機会を持ってほしい。」と述べられた。 ・那須委員は、「全体的に学校として様々な取り組みに努力していることが学校に関するアンケート結果に高い評価となって表れていると思う。このことは高く評価できることである。」と述べられた。 <p>(6) 最後に校長・准校長より、委員の方々からいただいた課題や提言内容について、解決に向けて学校として取り組み、本校の教育をより充実したものにしていきたい旨の挨拶があった。</p>			